

# 教育と文化

みなで  
えよう  
考えよ  
同和問題  
No. 251

このコーナーは、隔月のシリーズで掲載しています。これを手がかりに、家庭で人権・同和問題について話し合ってみましょう。

● 問合先 生涯学習課人権・同和教育係 ☎ 3186

## インターネットパトロール実施中

近年、インターネット上にあふれる差別的な情報が深刻な社会問題となっています。

例えば、ツイッター、フェイスブック、ライン、インスタグラムなどのSNSや、匿名で参加できる掲示板サイトへの悪質な書き込み、特定の個人に対する誹謗中傷などが後を絶ちません。また、YouTubeなどの動画投稿サイトにも人権侵害を扇動するような動画が数多く存在しています。さらには新型コロナウイルス感染症の流行拡大とともに、感染者やその家族の個人情報を公開したり非難したりする心無い投稿が散見されるなど、目を覆いたくなるような状況があります。

市では、このような人権侵害情報をいち早く発見し、拡散を防止するため『インターネットパトロール』を行っています。差別的な書き込みや動画などを発見した場合は、

その情報を記録するとともに、サイトの管理者へ削除要請を行います。管理者を特定できない場合や、要請に応じないなどの悪質なケースに対しては、法務局に対応を依頼することもあります。

インターネットは便利なツールであり、いまや私たちの生活に欠かせないものとなつていますが、自分の意思に反して差別的な情報と出会ってしまう危険性も併せ持っています。もし出会ってしまったら、安易に同調したり拡散したりしてはいけません。子どもをはじめとする私たちの正しい学びが、負の出会いによつて悪い方向へ導かれることがあってはならないからです。

私たちは、幸せになるために生まれてきました。幸せになるために、インターネットと正しく向き合っていきましょう。

# 郷土の文化財

伊万里の遺構シリーズ「埋葬遺構を中心として」⑤

● 問合先 生涯学習課文化財係 ☎ 1262

## 杵路寺古墳

(三里町川東 昭和35年度調査)

杵路寺古墳は通称『杵路寺』と呼ばれる場所にあるため、この名称で呼ばれています。古墳の形は前方後円墳(円形の墳丘に方形の墳丘を付設した鍵穴形)となつていますが、明治期の鉄道工事によつて、くびれ部分は削られています。

あまり知られていませんが、伊万里と大和政権とのつながりを示す重要な遺跡の一つです。4月号では、中心主体部の木棺の構造および副葬品について紹介します。

埋葬施設として、後円部(円形の墳丘部分)に中心主体部の木棺が1基、墳丘の裾周辺に箱形の石棺(箱式石棺)が4基確認されました。箱式石棺は4基のうち3基がすでに壊されており、残存した1基を昭和35年に明治大学が調査しました。

杵路寺古墳の造られた年代は、墳丘や埋葬形態などから4世紀末〜5世紀初頭(古墳時代中期頃)であると考えられています。市内における前方後円墳の存在は



↑杵路寺古墳地形図

- 中心主体部(木棺)
- 明治大学が調査した箱式石棺
- ▲ 壊されていた箱式石棺